

# Dialogue Bar Takamatsu 2017

テーマ「育む(はぐくむ)」  
「みる目、気づき、ほめる言葉が人を育てる」

ゲスト:乾 孝治さん (いの町教育委員会事務局 菊池学園担当 副参事)

福岡県生まれ高知県育ち。大学卒業後、高知県で2年間講師をしたのち、中学校数学教員として採用される。採用2年目には、当時高知県で実施されていた教員企業研修(半年間)では、NTTに出向。11年間学校で勤務後、いの町教育研究所研究主事として2年間勤務。その後、学校へ復帰予定のはずが、いの町教育委員会事務局研修指導員として5年間勤務。更に、教員を割愛退職し、現職に到る。共著に「一人も見捨てない教育の実現 挑戦! 四国四県からの発信!」(中村堂)



ゲスト:納田 健太さん(高松市立十河小学校 教諭)

香川県出身。広島大学教育学部卒業後、香川県内小学校で7年間勤務。2年間の県立五色台少年自然センター自然科学館での勤務を経て、現在、高松市立十河小学校教諭。

「すべての子どもたちに幸せになってほしい」という願いのもと、ことばを大切にしながら成長の授業を通して、コミュニケーションあふれる教育を目指しています。

公の社会の場に通用する、考え続ける人間・豊かで確かな対話力を持った人間を育てていきたいと考えています。



2018年2月3日

土 13:00-17:00

場 所:生涯学習センター「まなびCAN」小会議室 (高松市片原町11番地1)  
参加費:無料

ご予約  
お問い合わせは

主 催:NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国

後 援:高松市教育委員会

Web : <http://www.sv-shikoku.com/>



NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国(SV四国)は、香川県高松市を活動拠点に、2009年に発足し今年度で9年目を迎えます。

発足当初は、社会起業家を支援する活動を目的としていましたが、2012年度からは、様々な年齢層、異業種の方々の地域ネットワークの構築を目指し、地域を良くしていくための活動につながることを目的に、「ダイアログ・バー高松」を事業の中心としてきました。

「ダイアログ・バー高松」では、毎年一つの大きな総合テーマを設定し、それをいくつかの小テーマに分け、そのテーマに関わる先進的な活動をしているゲストとの対話や、参加者の対話を通して、ネットワークの形成や新たな活動へのアイデアを生み出すきっかけを創る場を提供しています。具体的には、ダイアログの総合テーマに沿って、年3回の小テーマでの場を企画し、ある時はゲストの語りを媒介に、参加者同士が対話を深め、また最近ではゲストゆかりの活動を学ぶスタディ・ツアーも企画しています。

今までに行ったダイアログの内容は、2013年度は『大人・成熟』を総合テーマに「地産地消・食・農業」の小テーマで、2014年度は『幸福』を大テーマに「働く・学び・遊び」の小テーマで、2015年度は『お互い様』を総合テーマに「誰もが働ける社会(障害者と雇用)・NPOわのわ会でのスタディツアー・社会保障と地域づくり」の小テーマで開催し、それぞれの切り口から対話を通して探求を深めました。

そして昨年、2016年度の総合テーマは『持続可能な環境』とし、第1回は大島会館を会場に、人権と環境が尊重される社会とは何かを考え、2回目はバイオマスタウン真庭視察ツアーに参加し、持続可能な地域づくりに向けて理解を深めました。3回目は、まさに私たちの環境である“家”についてのエキスパートをゲストとしてお招きし、今後重要な課題になるであろう空き家のリアルとこれからについて語り合いました。

さて、2017年度の大テーマは『育む(はぐくむ)』です。今の地域や教育という場での育むという営みをどうとらえ、どのように日々の活動に繋げていけばいいのか、ゲストや参加者と共に対話したいと思います。

NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国が行う、こういった機会を継続して提供していく活動が、当事者でもある私たち市民の課題意識の醸成にもつながり、より素敵な高松のまちづくりの基盤にもなると考えています。

## お申込み方法

申込フォームかFAXにて申し込み

**NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国まで**

申込フォーム(PC・スマホ共用)

FAX : 087-842-5740



<http://www.facebook.com/sv.shikoku>

フリガナ	
お名前	
電話番号	
メールアドレス	
参加希望の回にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第3回	